

平成27年度 戸田市政策研究所研究テーマ

研究テーマ名	研究概要	事業名
「新しいまち」に向けた創造性の検証	<p>人口が減少していく中、中規模郊外都市は軒並み住民の定住と外からの移住に力を注いでいる。そのため、都市間競争が激化しており、中規模郊外都市が何を武器に他の都市との差別化を図っていくべきか、早期に土台を固め戸田市の将来像を明確にイメージしていく必要がある。</p> <p>本研究では、戸田市の将来を見据えて、どこにでもある中規模郊外都市ではなく、戸田市のイメージを明確にし、都市における経済成長の鍵となる推進力を向上させることで、創造性豊かなまちを醸成していくことはできないか明らかにしていく。</p> <p>なお、本研究は法政大学地域研究センターとの共同研究とする。</p>	政策研究 (2年目)
戸田市における20代・30代の若年層の居場所～地元志向と都会志向に着目して～	<p>本研究では、家庭、職場・学校に続く居心地よい第3の場所（サードプレイス）の重要性を念頭に置き、戸田市での生活や若年層の消費行動等を調査する。そして、20代・30代が日常的にどのような場所で行動し、居住地や消費空間に何を求めているかを明らかにすることで、定住期間の短い20代・30代の定住促進への課題を見出していく。</p> <p>なお、本研究は目白大学社会学部地域社会学科との共同研究として、2年間かけて研究する。</p>	政策研究 (1年目)
少子高齢社会への戦略	<p>現在若いまちである戸田市においても、少子高齢化や人口減少に向けて先手必勝の備えが必要である。そこで、昨年度は将来推計人口等の基礎データを取りまとめ、少子化と高齢化の両側面から調査・研究を進めてきた。</p> <p>今年度は、1年目の基礎調査結果や戸田市の地域特性を勘案し、少子化に特化してその影響等について調査・研究を進めていく。</p> <p>なお、本研究は「まちづくり戦略会議」の研究テーマとする。</p>	政策研究 (2年目)

- ※政策企画：施策化・事業化を前提とした研究。原則として1年間で結論を導出する。
- ※政策研究：必ずしも施策化・事業化を前提としない研究。複数年で結論を導出する。
- ※政策支援：担当部署と共同で調査研究を実施。研究所の政策支援機能を活かす。
- ※PT：プロジェクトチーム。研究目的に対する調査、分析、結論付けまでの一連を主体的に実施し、テーマに対する研究成果を導出する。
- ※WT：ワーキングチーム。研究目的に対する基礎的な調査研究を実施し、決定機関へ結果を提出する。